科目名	看護倫理 Nursing Ethics	科目区分	共通	単位数	２単位
教員名	茂本咲子＊，荻野朋子＊，福沢嘉孝＊，福井雅彦，山口大輔＊，長瀬亜岐＊ ＊：実務家教員	必修・選択	必修	開講年次	第１学年
				開講学期	前学期

科目概要	医療の高度化・複雑化，国民の医療に対する権利意識の高まりなどに伴い，看護専門職は，多くの複雑かつ困難な倫理的課題に直面するようになっている。本科目では，看護実践の中で，看護職が日常的に直面している倫理的な課題・葛藤について，関係者間での倫理的調整を行うための知識を学修する。主要な内容として，倫理原則や人々の多様な価値観，今日の医療における状況について学ぶ。さらに，倫理調整の実践について事例を用いて検討し，理解を深める。
目標	1　看護倫理の概念，倫理原則，法的側面，倫理指針について説明できる。 2　看護・医療の場で生じやすい倫理的課題を論じることができる。 3　倫理的課題における看護職の役割を説明できる。 4　看護研究や教育において，必要な倫理的な配慮について説明できる。 5　医療および看護現場での倫理的ジレンマに潜む課題を明確化し，調整方法を討議できる。

内容

1	R7.6.6（金） 6	看護における倫理とは	ガイダンス，看護倫理とは，看護職の倫理綱領	茂本咲子
2	R7.6.13（金） 6	看護倫理の基盤①	倫理学とは何か，何故倫理が必要か，様々な倫理理論(功利主義/義務論/徳倫理/自由主義と共同体主義など)(映像による学習を含む)	福井雅彦
3	R7.6.13（金） 7	看護倫理の基盤②	医療倫理の４原則，他者危害原則，原則の特定化，原則の比較考量など	福井雅彦
4	R7.6.20（金） 6	看護倫理の基盤③	IC の歴史，ガン告知訴訟の事例検討，情報開示の基準と自己決定権など(映像による学習を含む)	福井雅彦
5	R7.6.27（金） 6	看護倫理の基盤④	医学・医療における倫理指針	福沢嘉孝
6	R7.6.27（金） 7	看護倫理の基盤⑤	先端医療における倫理指針，生命倫理	福沢嘉孝
7	R7.7.3（木） 6	看護現場の倫理的課題①総論	看護実践における倫理的課題，倫理的課題へのアプローチ，多職種チームにおける看護職の役割	茂本咲子
8	R7.7.3(木) 7	看護現場の倫理的課題②	看護研究，教育における倫理	荻野朋子
9	R7.7.12（土） 未確定	看護現場の倫理的課題③各論	看護実践の場での倫理的課題やジレンマ，倫理調整(1)	山口大輔 長瀬亜岐
10	R7.7.12（土） 未確定	看護現場の倫理的課題④各論	看護実践の場での倫理的課題やジレンマ，倫理調整(2)	
11	R7.7.25（金） 6	事例検討	倫理調整のための事例分析①プレゼンテーション，全体討議	茂本咲子 荻野朋子 福井雅彦
12	R7.7.25（金） 7	事例検討	倫理調整のための事例分析②プレゼンテーション，全体討議	
13	R7.7.26（土） 1	事例検討	倫理調整のための事例分析③プレゼンテーション，全体討議	
14	R7.7.26（土） 2	事例検討	倫理調整のための事例分析④プレゼンテーション，全体討議	
15	R7.7.26（土） 3	事例検討	倫理調整のための事例分析⑤プレゼンテーション，全体討議	

学修方法	1　授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み，積極的に授業に臨むこと。 2　授業では，学生のプレゼンテーションを取り入れ，討議を通して学びを深めていく。 3　１コマあたり，90分以上の事前・事後学修が必要になる。 4　プレゼンテーション及びレポートの内容について，適宜，フィードバックを行う。
評価方法	授業への参加状況(プレゼンテーション含む)(40%)，レポート(60%)により，総合的に評価する。
教科書・参考書	授業の中で提示する。
履修上の注意点	３分の２以上の出席を満たしている場合，評価対象とする。

オフィスアワー	茂本咲子：月曜日　16:30～18:00　Ｃ棟５階教授室７ 荻野朋子：水曜日　16:30～18:00　Ｃ棟５階個人研究室④ ※ 兼担・非常勤講師については別途提示する。